



ゴールデンウィーク明けの朝、私は「ちょっと寝ぼけ眼の子たちが登校してくるかな？」と校門で待っていました。でも、こちらの予想に反して、子どもたちは元気いっぱい！「おはようございます！」の大きな掛け声とともに、「先生、お休みはお父さんの実家に行ってきたよ。」「ぼくは釣りに行ってきた！」と連休の楽しい思い出を教えてくださいました。

4月から一か月が立ち、子どもたちの学校での学習も生活も、より本格化してきました。今回は各学年の様子を紹介します！

2年生～ちょっとお兄さん、お姉さん～

毎朝、気持ちのよい挨拶ができる2年生。4月から1年生が入学して、初めて下級生ができたので、はりきっています。今までは「してもらうこと」が多かったのが、4月からは、下級生のためにがんばる場面も増えてきました。

この日は、1年生のために学校を案内しました。1年生にとって学校は広く、わからない場所がたくさんあります。その一つ一つを、2年生が丁寧に説明していきます。リハーサルばかりで、本番に臨みます。

見ていると、「ここは、職員室です。先生たちがお仕事をしているので、静かにしましょう。」「ここは、図書館です。本がたくさんあって、あいうえお順に並んでいます。」と大きな声でわかりやすく説明します。1年生も話をよく聞いて、説明ごとに「はい！」と大きな声で返事する姿が気持ちよかったです。2年生主催の学校案内は大成功！2年生のこれからの成長がとても楽しみになりました。



上手に説明できた2年生。お見事です！

4年生～みんなで遊ぶこと、楽しむこと～

昼休み、運動場に出ると、4年生の子どもたちがドッジボールをしていました。いっしょに入れてもらったのですが、見ていると、4年生の子どもたちの遊び上手なこと。ボールの取り合いでけんかしたり、

アウトセーフで言い合いになったりすることはありません。みんなが気持ちよく遊ぶにはどうすればいいかをちゃんとわかっているなと思いました。

この後は、担任の先生を交えてのクラス遊びで、4年生全員で「だるまさんが転んだ」を楽しみ、みんなの笑顔がこぼれました。4年生の子どもたちの絆がこれからさらに強くなっていくのが楽しみです。



この日のクラス遊びは、「だるまさんが転んだ」担任の先生も入って、みんなで盛りあがりました！

5年生～米作りから学ぶこと～

5年生は、4月から米作りの学習をしています。

4月半ば、学校近くのビニールハウスで、苗を見せてもらいます。「これは、3月に植えたもので、26日たったのが、今、みんなが見ている苗だよ。」と教えてもらいました。「ビニールハウスの中の温度は何度かな?」「この苗全部で、お米はどれくらいできるのかな?」…子どもたちはいろんな疑問をもち、その一つ一つに丁寧に答えていただきました。

そして、4月下旬。この日は、待ちに待った田植え体験の日です。「東大淀を守る会」の方が10名ほど、来てくださり、子どもたちに体験させてくださいました。

「ぼくは、初めて田植えする！楽しみ～」という子もいれば、「おじいちゃんが米作りをしているから、毎年、田植えを手伝っているよ。」という子もいましたが、クラスみんなでやる田植えはこれまでとは一味違ったものになったことでしょう。子どもたちは、まっすぐな線になるように一本一本丁寧に植えていました。

お楽しみは、まだあります。なんと、田植え機に乗せてもらいました。これには、子どもたちも大興奮！なかなかできない体験に、目が輝きました。わたしも便乗して、人生初、田植え機に乗る体験をさせていただきました。ありがとうございます。

これから、子どもたちは、ジャンボタニシを駆除する体験や、収穫体験をしていきます。普段何気なく口にしているお米の中に、農家の方たちのどんな努力や工夫が入っているのかを学んでほしいと思います。



苗づくりについて詳しく教えていただきました。



写真の右側は子どもたちが植えた苗です。なかなかまっすぐ植えてますね。田植え機にも乗せてもらい大満足！